

ドラム缶液量遠隔監視

アクアシステム、中継器で300m

【大津】アクアシス

テム（滋賀県彦根市、

木村匡伸社長）は、最

ばせ、要望が増えている大規模工場でも利用

は年300台。

長300m離れたドラ

ム缶内の液体残量の遠

中継器1台につき通

隔監視を可能にする中

信距離を50m延長で

継器を発売した。同社

き、最大の5台接続で

製ドラム缶用レーザー

300m範囲の通信が

式液面計に使う無線デ

可能となる。ドラム缶

価額は9万円（消費税

の液体残量確認は、例

えば食品製造工場など

競争力を高める。

はパーム油を入れたドラム缶の液量確認を作業員が常時監視する必要があった。

同社の液面計やパソコン専用液量管理ソフトウエアなどで構成する遠隔モニタリングシステムは、複数のドラム缶の常時遠隔監視に使える。中継器追加による範囲拡大で、同システムの利便性と商品競争力を高める。